

私学助成署名推進ニュース

全国私私学助成をすすめる会
(事務局：全国私立学校教職員組合)
No.33 2020年12月1日(水)

青森：「9月末学費滞納調査」…県内全私立高校17校分の調査結果をNHKがテレビで報道

11/26に県庁記者会で結果発表をした青森の「9月末学費滞納調査」結果。県内全私立高校17校から回答を集約しましたが、11/30にNHKがテレビニュースでその結果を報道しました。

NHK NEWS WEB

2020年(令和2)

青森 NEWS WEB

私立高校の学費滞納率は改善傾向

11月30日 10時41分



会見する小野寺委員長

ことし9月までの半年間に県内の私立高校の学費を3か月以上滞納した生徒は全体の1.35%と、平成10年以降で最も低くなったことが教職員組合連合の調査でわかりました。

この調査は県内の私立学校でつくる教職員組合連合が年に2回行っ

ていて、今年度上半期の調査では県内すべての私立高校の17校から回答を得ました。

それによりますと、県内の私立高校に通う生徒8058人のうち、ことし9月までの半年間に学費を3か月以上滞納した生徒は1.35%にあたる109人でした。前の年の同じ時期と比べると0.83ポイント下がり、平成10年に調査を始めてから最も低くなりました。

また、経済的な理由で私立高校を中退した生徒も確認されなかったということです。こうした結果について教職員組合連合は、保護者の所得が一定の基準を下回る場合に国や県が授業料の一部を負担する制度の補助額が今年度から大幅に拡充され、各家庭での負担が減ったためではないかとしています。

一方で県内の学費の滞納率は、全国の中では依然として高い水準だということです。教職員組合連合は、「資金的な問題で学校に行けないことはあってはならず、新型コロナウイルスの影響も含めて状況を注視して課題を洗い出したい」としています。

全国31都道府県326校(11/30現在)から調査結果が集約された「9月末学費滞納調査結果」。既報のように青森ではついに県内全私立高校から調査結果を集約することができました。これまで1校の協力が得られないという処もありましたが、今回「県内全私立高校」からの集約が実現し、TVでの報道でもそのことが強調された報道となりました。

青森県は、国の就学支援金制度の拡充を足がかりに、浮いた県負担分を「年収590万～710万円未満世帯の授業料減免補助の拡充」と「非課税世帯への入学金補助5万円」と制度を拡充させました。この成果が、9月末(上半期)の学費滞納状況に反映した調査結果となりました。コロナ禍の中で滞納率が下降したことは、県全体にとっても注目される結果となったといえます。

全国の結果と比較すると、依然として滞納率が高い水準ということも指摘し、この先の課題を明示したことも重要です。

以下のURLで上記テレビ報道を観ることができます。

<https://www3.nhk.or.jp/news/aomori/20201130/6080010632.html>

全国の発表は12/3(木)です。各県でも記者発表をして世論化をすすめましょう